

〈シリーズ〉 校区紹介

城西中校区

戸田さつき

城西中校区は、その名の通り、松山城の西に位置する場所となり、新玉小、味酒小西地域、雄群小北地域の一部の3つの校区から成り立っています。

現在、JR松山駅再開発で、駅周辺は大きく様変わりしつつあります。道路整備なども徐々に出てきてはいますが、交通状態は安全とは言えない状況です。

校区内には、パルティ衣山、キスケなどの多目的商業施設、ゲームセンター、公園など、不特定多数の人が集まる場所がたくさんあります。



巡回は、月に3回、徒歩で、フジグラン松山を起点に駅前方面、セブンスター・南江戸店を起点に環状線・学校周辺、パルティ衣山を起点に校区の北地域で実施しています。十数年前までは、学校からの要請を受けて問題箇所を巡回したり、先生と一緒に巡回をしたり、幾度となく子どもたちに声をかける機会がありました。

が、現在では良くも悪くも、子どもたちに声をかける事が、ほとんどありません。

最近、落ち着いてはいませんが、今本当に子どもたちが大丈夫なのだろうかと思ひながら巡回をしています。

子どもたちにかける言葉も、その都度考えながら、危険から身を守る声だけでなく、続けたいと思います。

東中校区

森 加代子

東中校区は市内中心部に位置し、番町、八坂、東雲の3小学校校区で構成されています。各校区の特徴としては、皆様ご存じの通り、松山地方の政治、経済、文化、商業などのあらゆる核を擁する番町地区。中心部にありながら、源流地にホタルが飛ぶ「中の川」の自然と風情が残る八坂地区。松山城の東雲口側に位置し、道後とともに松山観光の中心地であり、また愛大、東高、教育研修センターなどが立地し「文教の地」を誇る東雲地区。このようにそれぞれの校区の特徴も大きく違うので、各校区個別の体制でパトロールしています。

八坂、東雲は規模は違いますが、落着いた住宅地が多く、問題が報告されることがほとんどありません。番町は、東中の生徒の通学路でもあるため、マナーなどが問題になることが考えられますが、現在問題行動の報告はほとんどありません。また、ゲームセンターがあるため、パトロールの難しさがあるのでは？と思われるかもしれませんが、長年の付き合い、スムーズな信頼関係を築き、スムーズなパトロールができています。

地域の状況は以上ですが、問題がないわけではありませんが、この校区もそうかもしれません。この校区の育成支援委員の世代交代という課題を抱えています。雄新校区のようにPTAと連携が取れていれば、長期間同じ人間がそこに携わることなく、うまく交代できると思うのですが、キャリアがあるのと違いますので、そこも難しいと思います。

拓南中校区

土居 博子

判断です。いずれにしても世代交代はやってきます。そのためのシステムを我が校区でも考えておかなければいけない、と考えるこの頃です。



石手川中流南部に位置する拓南中校区は、素鷲小学校と福音小学校の北西部で、行政上は素鷲地区と呼ばれ、春は石手川沿いの桜並木がとても美しく、景観に恵まれた地域です。

拓南中の生徒が多く、地域行事に参加し、地域住民も学校行事に参加して、学校と地域の連携・協力がよくできています。

国道11号線、国道33号線では多くの路線バスが運行され、伊予鉄河原線の石手川公園駅と立花駅もあり、交通の便は比較的良好な地域です。市街地に近いため、通学で多くの人が通っています。

巡回活動は月2回、20時から21時に、校区を4分割して、2か所のゲームセンター、6か所の公園、6か所のコンビニを中心に、徒歩で巡回しています。

子どもたちに出会わない日の方が多いこの頃ですが、部活動帰りと思われる学生が「気を付けて」と声をかけたり、下校時の見守りの実施など、地域でいろいろな取り組みがされています。

道後中校区

中島美紀子

ど、他校区の巡回活動も参考にさせていただきながら、今後も地域の子どものための健全育成のために努めて参ります。

道後中校区は、湯築小学校・道後小学校で構成されています。

日本最古の温泉の一つとして知られる四国屈指の観光地、歴史ある「道後温泉」「神社仏閣」(石手寺・伊佐爾波神社・護国神社・松山東照宮など)、展望台からは道後周辺の町並みや松山城を一望できる緑豊かな「道後公園」、近接には高校・大学など教育環境にも恵まれた地域にあります。

私たちは、湯築小学校区4名、道後小学校区4名の計8名で活動しています。校区別に月2回それぞれの校区内を巡回しています。

校区内には大型商業施設やゲームセンターがないので、夜間では下校時間に合わせて子どもたちの安全を心がけた見守り活動をしています。

地域では、道後温泉・夏まつり、松山東照宮輪越し祭り、道後中学校夏祭りなどでも巡回活動しています。

巡回は非行を見つけただけでなく非行を防止する為と、考え、温かい目で見守り、「おかえり」の声をかけをし、子どもたちが安心して過ごせる地域づくりを目指しています。

育成支援委員だけでなく、交通安全協会の方々、保護者の方々による登下校時通学路の見守り活動も長きに渡り全体で子どもたちの安心安全、健全育成に尽力して参ります。

青少年の被害・非行防止県民大会

愛媛県青少年育成協議会

発足60周年記念大会

北条南中校区 大森 義 継

7月28日(火)、愛媛県生涯学習センター県民小劇場(松山市上野町)で「青少年の被害・非行防止県民大会」が開催されました。今年度は愛媛県青少年育成協議会が発足して60周年の記念大会でありました。

第一部は式典で主催者挨拶のあと「優良青少年団体及び青少年知事表彰」「青少年育成活動功労者等に対する会長感謝状」「一般財団法人豫山会への知事感謝状・会長感謝状」が授与され、7団体8個人が表彰されました。

第二部は60周年記念大会行事として松前町立松前小学校児童による義農太鼓の発表があり勇壮な太鼓演奏が行われました。素晴らしい発表に会場からは大きな拍手が送られました。

第三部は「AI時代を生き残ることもたち」可能性とリスクを考える」と題しNPO法人Gumi代表理事



令和8年度

市町青少年補導委員ブロック別(中予地区)研修 砥部町大会

道後中校区 坂 本 淑 子

令和8年7月11日、砥部町中央公民館講堂にて、市町青少年補導委員ブロック別(中予地区)研修会が開催されました。

「青少年の非行防止とホットスポットパトロールの推進」と題しまして、香川大学教授 大久保智生氏による講演がありました。

大久保先生は、心理学的な知見から万引き防止や地域の防犯対策に関する研究・社会的実践を精力的に行っている、産官学や地域ボランティアと連携しながら、犯罪の起きやすい環境に着目した「ホットスポットパトロール」や、防犯アプリ

「歩いてミイマイ」を活用した次世代の地域防犯モデルの構築に尽力されています。店舗の見回りも500店舗を見回り、現場で活動されています。

ウォーキングやランニングをしながらのホットスポットパトロールの実施などを推奨されていました。防犯は、家庭・学校・地域がタッグを組んで取り組むことが防犯になると。講演を拝聴して、私たちの巡回活動の重要性をますます感じた研修会でした。

編集後記

「このはな」の発行にあたり、ご協力いただいた皆様並びに原稿をお寄せいただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

今後とも育成支援委員相互の情報共有ができるよう、紙面の充実に向けてまいりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

広報部一同